

## 鷺浦地区の自然

数世紀を経て、鷺浦周辺のこの地域ではほとんど何も変わっていない。森に覆われた丘陵が三方から町を取り囲んでいる。西側の海岸から始まる鷺浦遊歩道は、野生のシカやイノシシの生息地を通過して 2.5 キロメートル続く。経路はヤマモモ、クリ、シナアブラギリ、ヤブツバキで縁どられている。歩道から、ハイカーたちは脇道を通って人里離れた海水浴場のある岬へ行くこともできる。岬西側の頂上に到達する遊歩道の最終地点では、広々とした海のパノラマ風景が楽しめる。そこで見られる海岸線の切り立った崖、海蝕洞、火山岩の複雑に入り組んだ島々は非常に印象的で、大山隠岐国立公園部分に指定されている。

繁殖期になると島根半島へと渡ってくるウミネコが突堤や堤防に止まる姿が鷺浦港一帯で見られる。その鳴き声は区別しやすく、猫の鳴き声に似ていることからウミネコと呼ばれている。

珍しい鳴き声の生き物がもう一種類、港へ流れ込む八千代川に生息している。これはカジカガエルで、夏の夜に一齐に響く鳴き声は秋につがいを求める雄鹿の呼び声に似ていると言われている。

この地域のドラマチックな美しさの大半は海から鑑賞できる。港北部の海蝕洞とゴツゴツした断崖側を探索するガイドツアー（クルージング）を地元の旅行会社が運行している。